

「コロナ危機を乗り越え公約を実現する 積極的集大成予算」の主な事業

第1の戦略 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)

経済活性化 回遊型観光ルート活用促進事業
予算 23,806千円

民間事業者と連携しながら、古民家ホテルをはじめとした宿泊施設の充実などにより、中長期滞在型旅行者の市内への取り込みを図ります。

また、引き続き回遊ルートの推奨コースを提示し、民間事業者などの旅行企画につなげます。さらに、まほろば号の既存路線を観光路線としても活用しながら、太宰府の観光PRを行います。

加えて、古民家や門前町周辺の建物の改修などに助成することで、歴史の街なみ整備による観光客の増加を図ります。



経済活性化 令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業
予算 10,000千円

太宰府の梅の価値に改めて注目し、梅を使った新製品の開発に注力し地場みやげ産業としてふるさと納税にも登録することで、税収の飛躍的増加を図ります。

併せて、梅の木の植栽や市内生産者への一部補助により、特産品開発の原材料となる農産物の可能性の拡大に寄与します。

なお、本事業の実施にあたっては、クラウドファンディングなどにより事業費の一部を寄附金で賄います。



第2の戦略 太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

新たな生活様式 広報戦略関係事業
予算 41,479千円

市長と語る会、ホームページやフェイスブックなどによるタイムリーな情報発信、市民の意見箱へのオープンかつスピーディな対応、「広報ださいふ」の更なる充実を図ります。また、太宰府市公式LINEや動画による配信など、状況に応じて多様な情報ツールを使った効果的な情報発信を図ります。

新たな生活様式 ICTを活用した先進教育推進事業
予算 100,748千円

GIGAスクール構想の推進により教職員の研修やサポート体制の充実、指導者用デジタル教科書の導入など、ICTを活用した授業づくりを行います。

さらに、個別学習や家庭学習を含め、タブレット端末を利用した学習を推進します。



新たな生活様式 STEAM教育の推進事業
予算 408千円

市内民間企業と連携して、小学校でプログラミング教材を用いたオンライン授業を推進するとともに、夏休みなどの長期休暇にプログラミングやものづくり、科学体験といった学びの場を提供します。

経済活性化 起業創業支援、地場産業育成・活性化事業
予算 171,411千円

さらなる融資の円滑化と貸付額の増加に向け、本市の制度融資における預託額を増額します。また、創業者および既存事業者に対する支援についても、専門家による相談対応など、事業者への経営相談の充実を図ります。併せて、市内企業誘致プロジェクトチームを立ち上げます。そして、中小企業等一時支援金給付事業およびサテライトオフィス整備支援事業を実施します。

新たな生活様式 市域西側における各種証明書の交付事業
予算 4,669千円

住民票、所得課税証明書などの各種証明書を交付する窓口を、とびうめアリーナに隣接したスポーツ振興事務所内地域包括支援サブセンターで毎月第2・第4日曜日の午前中に開設し、市民の利便性の向上と緊急時に備えた窓口機能の分散強化を図ります。



新たな生活様式 各種証明書のコンビニ交付事業
予算 5,325千円

個人番号カードを利用して住民票、所得課税証明書などの各種証明書をコンビニエンスストアのマルチコピー機で交付できるように整備することで、市民の利便性の向上と緊急時に備えた窓口機能の分散強化を図ります。

経済活性化 財政健全化 ふるさと納税改革事業
予算 374,458千円

コロナ禍により、市税の減収が見込まれる中、さらなるふるさと納税による寄附の拡大を図るため、ふるさと納税返礼品提供事業者および返礼品の拡大、寄附金の使途の明確化、PRの全庁的な取り組みへの拡大、広報強化、ふるさと納税サイトの増設ならびにクラウドファンディング、企業版ふるさと納税の活用などを実施します。

新たな生活様式 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業
予算 10,561千円

福岡県後期高齢者医療広域連合および市の関係課と連携し、地域の健康課題の把握や、保健師などの専門職による高齢者に対する個別支援と、高齢者が集う「通いの場」などへの積極的な関わりなどを組み合わせながら、保健指導、フレイル予防などの健康教育、適切な受診勧奨などを実施します。

新たな生活様式 不登校児童生徒支援事業
予算 38,156千円

不登校児童生徒などが学ぶつばさ学級の在籍者数が増加しているため、いきいき情報センターなどを利用して、「第2つばさ学級(仮称)」を定期的に開設することで児童生徒のさらなるきめ細かい支援を行います。

第3の戦略 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想(圏域拡大戦略)

経済活性化 史跡100年プロジェクト推進事業
予算 13,121千円

昨年度中止を余儀なくされた全国史跡整備市町村協議会の太宰府大会を開催します。史跡指定100年の記念事業として、本市の誇る史跡を改めて内外に知らしめ、本市の取り組みや提言を全国に向けて広く発信していきます。

そのためにも、太宰府市文化財保存活用地域計画を策定し、これからの100年先を見据えた大宰府跡を始めとする文化財の保存活用について意欲的、計画的に推進します。



財政健全化 史跡地管理事業
予算 38,648千円

史跡の維持管理および史跡整備を効果的に進めます。また令和2年度の地方分権改革推進提案で実現した史跡地の規制緩和を活かし、史跡管理のために生じる廃棄物などの有効活用を図るとともに、史跡散策などで訪れる人から受益者負担を求める取り組みを積極的に検討します。

経済活性化 キャラクターを使ったシティプロモーション事業
予算 1,990千円

関係人口の創出・拡大に向けて、令和発祥の都PRキャラクター「旅人のたびと」「れいわ姫」「おとものタビット」を活用したシティプロモーションを積極的に展開し、キャラクターグッズの製作なども検討します。

さらに、排気量50cc以下の原付バイクのナンバープレートに、同キャラクターをデザインし、新規または変更登録の際に希望者に交付します。



経済活性化 市内幹線道路渋滞対策事業
予算 11,169千円

観光客密集対策として太宰府市交通情報案内システムを積極的に整備・活用し、市内の主要交差点や駐車場のライブカメラ映像、駐車場の満空情報をリアルタイムで発信することで、渋滞解消を図ります。

また人口増加に伴い、今後交通渋滞はさらに深刻化することが懸念される国分・坂本地区の幹線道路整備を検討します。



第4の戦略 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)

新たな生活様式 安全・安心のまちづくり事業
予算 75,913千円

市のハザードマップの更新や現行のコミュニティ無線の更新、プラム・カルコア太宰府敷地内にある防火水槽の改修および梅香苑地域の防火水槽移設工事など、市民の安全・安心を守るための避難対策やハード整備を行います。



経済活性化 市内生活道路整備拡大事業(太宰府版ニューディール事業)
予算 83,824千円

側溝蓋掛け工事や交差点改良工事などの生活道路改良工事を、計画の前倒しなどで事業を拡大し実施します。



財政健全化 市内ICT事業
予算 94,252千円

更新時期を迎えるシンクライアントシステム、住民情報に係る基幹系システム、GIS(地理情報システム)及び市ホームページなどを更新し、ICT環境の再構築を図ります。また自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、外部より市初のCIO補佐官を公募します。

経済活性化 河川改修事業(太宰府版ニューディール事業)
予算 5,664千円

高尾川周辺は集中豪雨時の河川氾濫による道路冠水などの被害が発生しています。そこで、地域住民の安全安心を確保するため、改善に向けた高尾川改修の検討を行います。



経済活性化 中心市街地活性化検討事業
予算 3,874千円

五条エリアにおける駅や公共施設を活用した活性化を検討するとし、PFI/PPPの手法を使った再開発、整備を鉄道会社との緊密な連携を図りつつ、周辺道路網の改善や有効な土地利用方法などについての検討を行います。

経済活性化 公共下水道整備事業(太宰府版ニューディール事業)
予算 25,000千円

市の下水道のマンホールの老朽化した蓋の更新を前倒しで行うとともに、一部の地区には市の特色あるデザインの蓋を設置することを検討し、公共下水道のPRを図ります。

太宰府版ニューディール事業とは
市民の生活環境の改善と新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む経済の活性化対策として行う事業。